



■ 地域における人づくり実践事例

手作り人形芝居で地域を元気に

劇団「うふふ」(富士宮市)

事務局長 高瀬 幹雄

富士宮市上柚野 592 番地

問合せ ☎ 0544-67-0787



劇団「うふふ」劇団員の皆さん



使用される人形は全て手作りです

等身大人形による人形劇

人形と人間のコラボレーション。人形劇でありながら、劇団員も出演する斬新な手法で、等身大人形と人間が不思議な世界を創り出しているのが、劇団「うふふ」です。

劇団員は主婦、アマチュア劇団員、書道家、写真家など 16 名の多彩なメンバーで構成されており、人づくり推進員の松永泰然さん(富士宮市)、原郁美さん(富士市)も劇団員として活躍しています。

公演で使用する人形や背景はもちろん音楽も劇団員の皆さんが自分たちで製作しています。

劇団員の皆さんは非常に仲が良くコミュニケーションが活発であり、その仲の良さが公演中のコンビネーションの良さに繋がっています。

週 1 回程度富士宮市内で練習を重ね、日本民話を中心に子供から大人まで幅広い人々が楽しめる人形芝居を目指しています。



人形芝居が始まると、子供たちは真剣に観ていました。急に大きな音が聞こえると、驚いた表情をする子もいました。

保育園、小学校等で大人気

劇団「うふふ」は富士宮市内を中心に活動しており、公演を行った保育園、小学校等では子供たちに絶大な人気を得ています。

今回は、富士宮市立山宮保育園で行われた人形芝居取材しました。山宮保育園では、一昨年から劇団「うふふ」による公演が行われ、今年で 3 回目の公演となります。昨年までの公演も好評で、子供たちは今年の公演を楽しみにしていました。この日は「ぶんぶく茶釜」が上演され、園児約 80 名が鑑賞しました。

人形芝居が始まると、子供たちは真剣なまなざしで芝居に見入っていました。動き回る人形や楽器での生演奏、道具を使った効果音、団員の皆さんの歌声に興味津々の様子でした。

公演では、劇団員の皆さんが楽しんでいる様子が印象的でした。楽しく演じることで見ている子供たちも自然と楽しい気持ちになるのだと感じました。(大石)



人形が近づいてくると、興味深そうに見入っていました。公演終了時には、盛大な拍手とともに、「楽しかった」という子供たちの声が聞こえてきました。

地域における人づくり実践事例

**市民活動団体の支援により
地域づくり・人づくりを
実践します。**

袋井市協働まちづくり センター「ふらっと」

袋井市方丈 3-5-11

問合せ ☎ 0538-43-6315



袋井市協働まちづくりセンター「ふらっと」



市民活動団体の情報が貼られた掲示板

市民活動団体を支援する「ふらっと」

袋井市協働まちづくりセンター「ふらっと」では、市民活動団体の自主的・主体的活動を支援するとともに、情報の交換や研究の機会を通し、地域課題に取り組んでいます。

具体的な活動は、市民活動啓発のための市民団体紹介冊子の作成、NPO相談、市民の交流の場「ふらっと祭」の開催などさまざまです。これらの取り組みにより地域の活性化を図っています。

また、会議室などの貸館事業も行っています。「ふらっと」登録団体は24時間365日利用することができ、地域活動の拠点となっています。

「ふらっと」では人づくり推進員の村田美千子さん（袋井市）が委員の一人として運営に関わるとともに、市民団体紹介冊子作成のため取材スタッフとして活動しています。村田さんは自らも子育てしながら活動を行っています。

今回は、「市民活動団体の魅力をもっと引き出そう」をテーマに行われた協働ワークショップを取材しました。

ワークショップが行われた9月30日は台風24号が接近しているあいにくの天候でしたが、袋井市内の市民活動に関わる方など23名が参加しました。



ワークショップはプロセスコンサルタントの守本尚子氏を講師に迎え行われました。守本氏は昨年度も講師を務め袋井市の地域づくりを地域のみなさんと一緒に考えています。

「連携」で市民活動団体の魅力を引き出す

自分たちの活動は地域とどんな関わりを持っているのか、自分たちと似た団体や異なった分野の活動も知って、共感したり連携したりして地域とつながり、地域で役立つ市民活動の輪を広げたい、そんな思いを実現させるためワークショップは行われました。グループでの話し合いの後、グループごとに発表が行われました。それぞれの強みを生かし運動会を盛り上げる取組や、地域キャラクターを使って地域を盛り上げる取組などが発表されました。

講師のプロセスコンサルタント守本尚子氏からは、地域での連携はこれから社会で起こり得るピンチをチャンスに変えることができる、ぜひ連携を広めてほしいとの意見がありました。

市民活動団体のお互いの強みを生かし、地域で連携して地域づくり・人づくりの輪をこれからも広げてほしいと思います。（大石）



グループでの話し合いではそれぞれの活動のアピールが活発に行われ、地域連携で何ができるのか、新たな可能性について意見を出し合いました。



グループごとに得意分野を生かした連携の事例を発表しました。連携した取組を地域に広げるためにはICTの活用が有効ではないか、といった意見も出されました。

■ 県の取組紹介

大きな夢を描く子供たちの能力を 更に伸ばすためのきっかけづくり

未来を切り拓く Dream 授業

静岡県文化・観光部総合教育課

問合せ ☎ 054-221-3304

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-170/dreamschool.html>



講師の授業を受ける子供たち

自らの「生きる道」を究める第一歩

「論語」には、「十五にして学に志す」という言葉があります。15歳と言えば、日本では中学生の年齢です。多くの可能性を秘め、様々なことに興味を持ち、中には世界で活躍したいという大きな夢を描いている子供たちがいます。

県文化・観光部総合教育課では、このような中学1・2年生を募り、将来、様々な分野において日本や世界で活躍したいと考えている子供たちの能力を更に伸ばす「きっかけづくり」をするために、2泊3日の「未来を切り拓く Dream 授業」を開催しました。その授業の様子を紹介します。

【授業の概要】

- 日 程 7月30日(月)から8月1日(水)まで
- 会 場 静岡県総合教育センターほか
- 応募者数 分野を問わず将来日本や世界で活躍したいと考えている県内の中学1・2年生 78名
- 受講者数 応募者から抽選で選ばれた 29名
- 内 容
 - ・各界を代表する講師陣による講義 (50音順)
池上重弘 (静岡文化芸術大学副学長)
市川大祐 (清水エスパルス普及部コーチ)
加藤暁子 (日本の次世代リガー養成塾専務理事、事務局長)
加藤百合子 (株式会社エムスクエア・ラボ代表取締役)
木苗直秀 (静岡県教育長)
宮城聡 (公益財団法人静岡県舞台芸術センター芸術総監督)
 - ・外国人留学生・ALTとの交流
 - ・舞台俳優による表現指導等
 - ・同世代の仲間とのディスカッション
 - ・発表

多彩な一流講師を揃えた濃密なプログラム

初日と2日目は、世界で活躍する講師の講義を行い、元サッカー日本代表の市川大祐さん、SPAC芸術総監督の宮城聡さんのほか、多文化共生の研究者、農業ビジネスの起業家など様々な分野のスペシャリスト6名に貴重なお話をいただきました。

また、ふじのくに留学生親善大使やALTから世界各国の学校の様子を聞いたり、SPACの舞台俳優の方々にお越しいただき、宮城監督とともに演劇の基礎となる動きを教えていただいたりしました。

2日目の後半から、「理想の学校をつくる」というテーマでグループ討議を行いました。リーダーシップを発揮する子もいれば、自信が持てず自らの意見を言えない子、活発な意見交換があったかと思えば、意見が対立してしまう場面もありましたが、子供たちは徐々に相手の考えや思いを理解し、新しいアイデアを出していくようになっていきました。

そして最終日、保護者の方々が参観する中、5つの素敵な学校の発表が行われました。教科書をなくした実技重視の学校、学校で作った農作物を売って商売する学校など、大人では発想できない様々な学校の提案がありました。

切磋琢磨する仲間を得て、夢への近付き方を学んだ子供たちの将来が楽しみです。



発表後の子供たちには、自信と充実感に満ち溢れた笑顔がありました。大人の知恵や手を借りずに辿り着いた、彼らだけの学校。この授業を通して、考えの正否ではなく、揺るぎない信念を持つことが大切だと改めて感じました。

■ 県の取組紹介

教育に関する「大綱」及び県教育振興基本計画 (2018年度～2021年度)が策定されました！

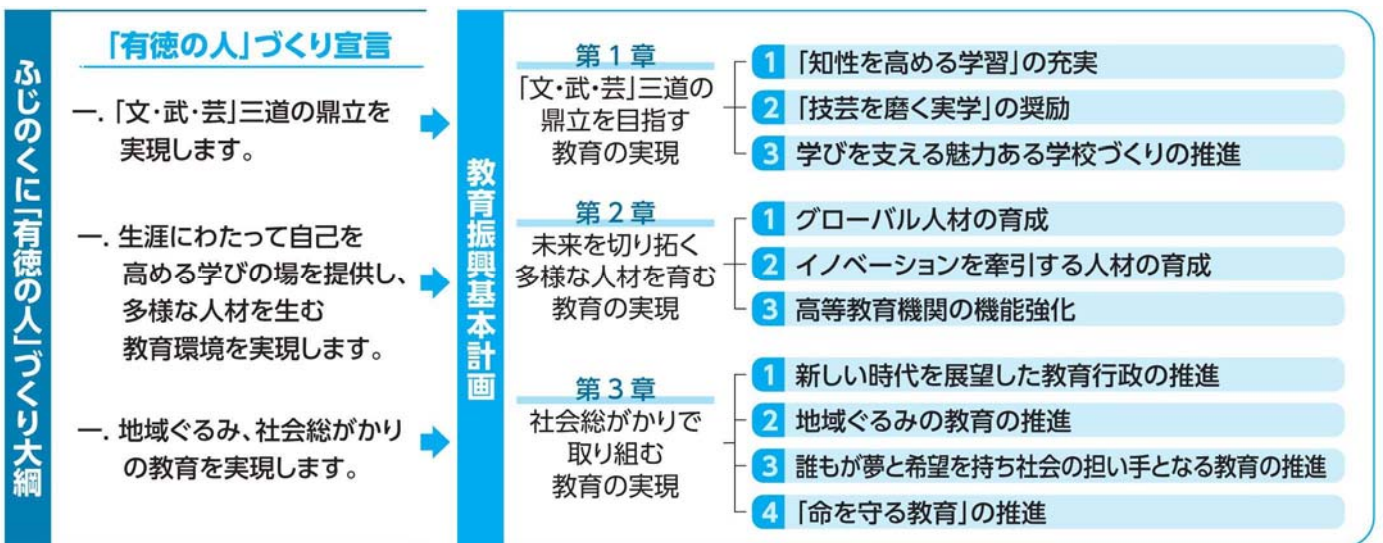


「有徳の人」の育成の推進

静岡県文化・観光部総合教育課

問合せ ☎ 054-221-3304

e-mail sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp



教育に関する「大綱」について

教育に関する「大綱」とは、地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるものです。

静岡県は、「富国有徳の『美しい“ふじのくに”』づくり～静岡県をDreams come true in Japanの拠点に～」を基本理念としています。国づくりの基礎は、「人」であり、「人づくり」の柱は教育です。

そこで、「大綱」では、個人として自立し、人との関わり合いを大切にしながら、よりよい社会づくりに参画し、行動できる人を「有徳の人」と捉え、「ふじのくに」の未来を担う「有徳の人」の育成を進めていくこととしています。

「静岡県教育振興基本計画」について

県教育振興基本計画は、大綱で示されている『「有徳の人」づくり宣言』に基づき、3章構成で体系的にまとめています。(上図参照)

第1章では、「知性を高める学習」と併せ、「技芸を磨く実学」を奨励するとともに、子供たちの学びの場となる魅力ある学校づくりを推進します。

第2章では、豊かな国際感覚とコミュニケーション能力を身に付け、世界で活躍できる人材や、専門知識を持ち、新たな価値を生み出す人材を育成します。

第3章では、学校、家庭、地域の連携・協働による地域の特色を生かした「人づくり」や、生まれ育った環境に左右されず全ての人が能力を伸ばせる教育を推進します。

■ 編集・発行 静岡県 文化・観光部 総合教育局 総合教育課(総合教育班)

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3304 FAX 054-221-2905

sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp

<http://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-170a/>

静岡県の人づくり推進

検索

